

見つめる岸和田 2号



市の施策に関する、疑問を調査し、多様な情報を分かりやすくお伝えします!

こんにちは!
桃うさぎです

春木紀州街道を、通学時間だけ 自動車の通行制限はできないのか?



磯上線から臨海線への木材町交差点が、朝の通勤時間帯に込むので、和歌山行き
の抜け道として紀州街道が使われています。
ここは生活道路なので、道が狭く、2012年4月に起きた亀岡の交通事故のよ
うにならないか心配。通学時間だけでも交通規制できないのでしょうか?

というご相談を受けて、岸和田警察へ確認したところ・・・



時間帯交通規制を行うには、自治会などで沿線の地域住民の方々に周知し、
おおむねの了承を得てください。
その後、要望書を提出することで、交通規制課が、時間帯規制をかけること
が可能となります。
住民の方には交通許可証を発行します。

しかし、問題が1つ!

“どうやって車の進入を防ぐのか?”



警察は、交通規制はかけても、取り締まりや見回りに来てくれるのは、数ヶ月に1回程度。つまり、住民による
物理的な規制が必要となってきます。

入り口にバリケード、人が立つ、迂回するように伝えることが必要です。

この人出しは各地で困っている問題で・・・

町会などを通してシステムが出来上がってしまえば、人繰りもでき
るようになってきますが、スタートまでが少し大変です。

岸和田は、まだまだ祭りなどで人のつながりがある地域!住民の
方々にもご協力いただけるのではないかな・・・と考えています。



私は、亀岡の事故について、ご遺族であり、「京都交通事故被害者の会 古都の翼」代表の中江美則さんや、ジャーナリストの柳原美佳さん（ご遺族・被害者の会の皆さんを支援し、交通事故などをテーマに執筆や講演活動を行われています）にお会いして、お話を伺ったことがあります。

事故後に「危ないと思っていた」という住民の声が聞かれていましたが・・・

ゴム製のポールを使って、道路幅を4mから3mにし、スピードを落とさないと通れないような工夫がなされたのは、事故後2年経った今春です。

岸和田にも、狭い道路ながら車の抜け道として利用されている道路が多々あり、住民の方々が安全に気をつけることが必要となっている状態です。

事故が起きてから、安全に対する工夫がなされても、怪我をした痛い思いや、人の生命は戻ってきません！

住民の皆さんが、白頭から「危ない！！」と感じておられるのならば、子どもたちを守るためにも、その想いは早く形にして、事故を防ぐことが必要です！

* * * * *

情報公開請求した資料は持ち帰ることができます（写しの交付）。

ただし、コピーを貰うことは有料（1枚10円）です。

今は、資料はPCに取り込む方がほとんどでしょうから、携帯のスクリーンを持ち込み、スキャン・データ化すれば、どんなに大量の資料であっても閲覧だけですの無料です。

CD-Rに焼いてくれる自治体もありますし、CD-Rに入る容量分の資料をくれる自治体もあります。

（愛知県では、2万枚の領収書を3枚のCD-Rに焼いてくれます。千葉県浦安市でも100円程度の費用で、CD-Rに入る容量の資料が貰えます）

とある市では、市議に対してだけ無料で、持ち込みのUSBに情報公開したという例がありますが、ウイルスなどへのリスクから市民に対しては持ち込みを許可していない例もあります。

市議だけ特別扱いというのは、あまり誉められた例ではありません。

大阪府や和泉市では、CD-R1枚100円+公開文書11枚目から1枚ごとに10円の手数料が設定されています。

本来は、請求しなくても情報を見られるようにして当然のこと！という考えからすると、これもおかしい例です。

現在、岸和田市ではCD-Rによる提供ではなく、紙による提供です。カメラで写すか、スキャンするのがいいでしょう。スクリーンを持ち込む場合ですが、情報公開コーナーにあるコンセントは使えませんので、電源も自分で持ち込むことが必要です。



* 桃うさぎ ってどんな人？ *

たかひら正明 1967年生まれ46歳
青年団から春木宮本町で祭礼に参加。
15年以上に及ぶ梃子尻と、祭礼用髪型が、
町内だけでなく春木祭礼の名物。
2013年度若頭協議会。
町の評論家として社会問題研究を行い、ドキュメントなどを中心に読書量は6000冊を超える。

<見つめる岸和田>

Facebook : <http://m.facebook.com/mitumerukisiwada/>

Blog : <http://ameblo.jp/watchdokisiwada/>